

平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書
(別添資料)

平成 22 年 6 月
富山大学

目 次

資料 1	アドミッションポリシー・・・・・・・・・・・・・・・・	1
資料 2	平成 22 年度・平成 23 年度の教養科目実施一覧・・・	2
資料 3-1	アクセシビリティ・コミュニケーション 支援室の概要・・・・・・・・	3
資料 3-2	富山大学学生なんでも相談窓口体制図・・・・・・・・	3
資料 4-1	目に見える学生支援方策・・・・・・・・	4
資料 4-2	富山大学五福キャンパス学生健康保険組合 解散後の預かり金残金の使途について・・・	4
資料 5-1	就職ガイダンス等実施状況・・・・・・・・	5
資料 5-2	富大流人生設計ノート・・・・・・・・	5
資料 6	富大流人生設計支援プログラム・・・・・・・・	6
資料 7-1	地域連携推進機構産学連携部門新旧対照図・・・・・・・・	7
資料 7-2	戦略展開プログラム実施概要・・・・・・・・	7
資料 8	地域連携推進機構新旧対照図・・・・・・・・	8

資料1 アドミッションポリシー(抜粋)



UNIVERSITY OF TOYAMA 富山大学

[訪問者別 INDEX](#) | [受験生](#) | [地域/企業](#) | [卒業生](#) | [在学生](#) | [教職員](#)

[English Homepage](#)

HOME > 入試情報 > アドミッションポリシー

- 大学紹介
- 教育・研究活動
- 学部・大学院・施設
- 入試情報
- 学生生活
- キャリア・就職支援
- 地域・産学官連携
- 国際交流・留学
- 運営組織・情報公開
- 附属病院
- 附属図書館

【アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)】

全学アドミッション・ポリシー

富山大学は、幅広く豊かな教養を身につけ、人文科学、社会科学、自然科学、生命科学及び芸術文化の各分野の高い専門知識や技術を修得し、地域社会や国際社会に貢献する意欲あふれる人を求めています。

■ [人文学部](#)

■ [人間発達科学部](#)

■ [経済学部](#)

■ [理学部](#)

■ [医学部](#)

■ [薬学部](#)

■ [工学部](#)

■ [芸術文化学部](#)

[▲ ページトップへ](#)

■ **人文学部**

1. 教育目標

1. 自主的・主体的に行動できる、国際協調時代にふさわしい人間を育成します。
2. 文化・歴史・社会のさまざまな事象について、問題意識を持って調査・分析・発表・討論する能力を身につけた人間を育成します。
3. 言語コミュニケーション等の実践的能力を身につけ、異文化間の相互理解を推し進めることのできる人間を育成します。

2. 次のような学生を求めています。

1. 柔軟な思考力、グローバルな視野、実証的な精神を養い豊かな未来を切り開くことに挑戦する人
2. 高い見識とコミュニケーション能力を身につけて、国際社会での活躍をめざす人
3. 身近な社会や文化の中に課題を見出すことによって、地域社会に貢献することをめざす人

[▲ ページトップへ](#)

(出典: 富山大学ホームページより抜粋;

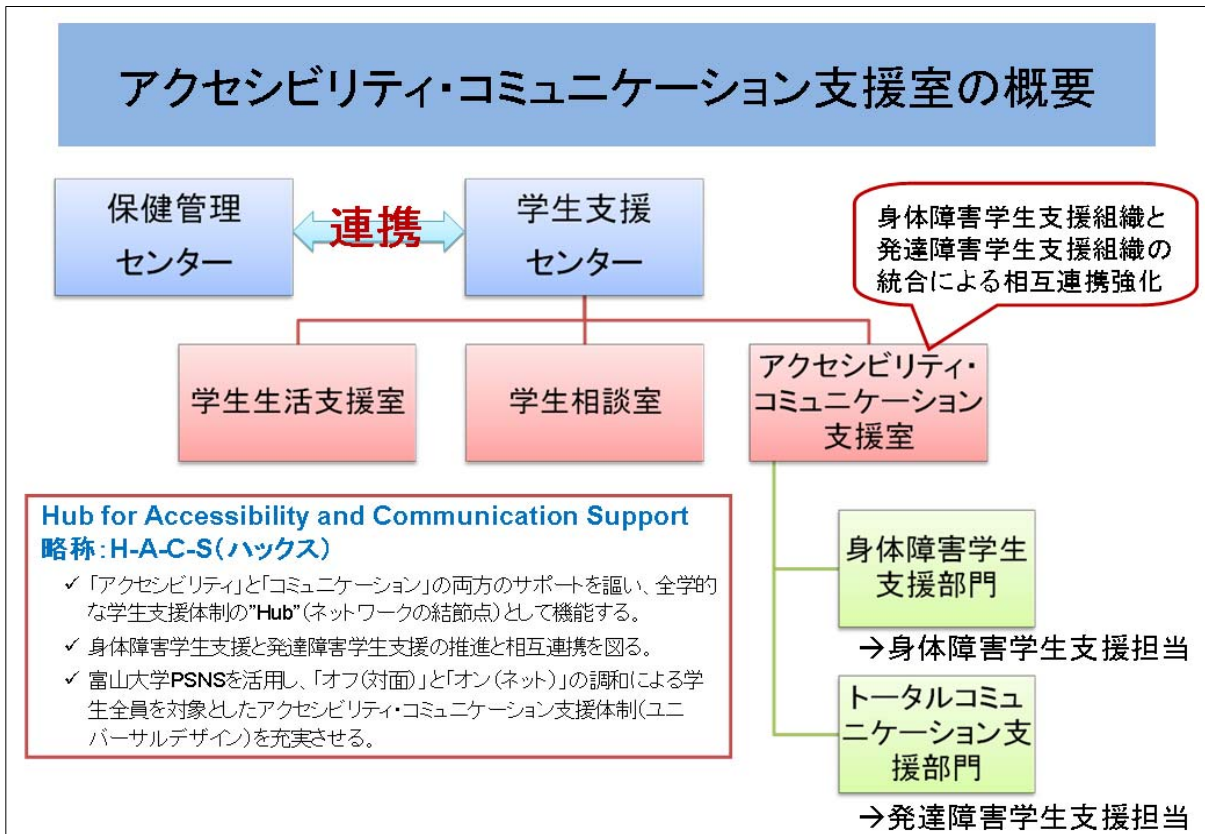
<http://www.u-toyama.ac.jp/jp/ex/adm/index.html>)

資料2 平成22年度・平成23年度の教養科目実施一覧

(1-1)高岡キャンパスで開講する科目:教養教育科目											
	分野	年間開講科目数	科目提供キャンパス *1	授業科目名*2	開講年度		実施形態	単位数	年次	学期(後日調整)	分野の選択必修単位
					22	23					
教 養 科 目	人文科学系	1	高岡	中国の言語と文化	○	○	講義	2	2		4 単 位
		1	高岡	世界の英語	○	○	講義	2	2		
		1	高岡	英米文学入門	○	○	講義	2	1		
		1	五福	思想と倫理	○		講義	2	1		
		1	五福	こころの科学		○	講義	2	1		
		1	五福	歴史の社会	○	○	講義	2	1		
	社会科学系	1	高岡	ボランティアの世界	○	○	講義	2	2		4 単 位
		1	高岡	ジェンダー	○	○	講義	2	1		
		1	高岡 (五福)*3	日本国憲法	○	○	講義	2	2		
		1	五福	社会理論と現代	○		講義	2	1		
		1	五福	法と政治	○	○	講義	2	1		
		1	五福	産業と経済		○	講義	2	1		
	自然科学系	1	高岡	身近な医学	○	○	講義	2	2		4 単 位
		1	高岡	情報の世界	○	○	講義	2	1		
		1	高岡	建築とリサイクル	○	○	講義	2	2		
1		高岡	化学物質の世界	○	○	講義	2	1			
1		五福	生命環境	○	○	講義	2	1			
(1-2)高岡キャンパスで開講する科目:教養教育科目											
共通基礎科目	外国語科目	4	全学	フランス語	○	○	講義	4	1		
(1-3)高岡キャンパスで開講する科目:専門教育科目											
専門教育科目	学部共通	1	全学	美術・デザインのための解剖学			開講 検討中				
(2)五福キャンパスで開講する科目											
教養原論	人文科学系	1	高岡	美術	○	○	講義	2	1		
(3)杉谷キャンパスで開講する科目											
人間文化科学	人社系	1	高岡	人間と美	○	○	講義	1	1		
*1 担当の教員が所属するキャンパス											
*2 各キャンパスで開講する授業科目名											
*3 非常勤講師が担当(共通教育院社会科学系部会で講師を斡旋)											

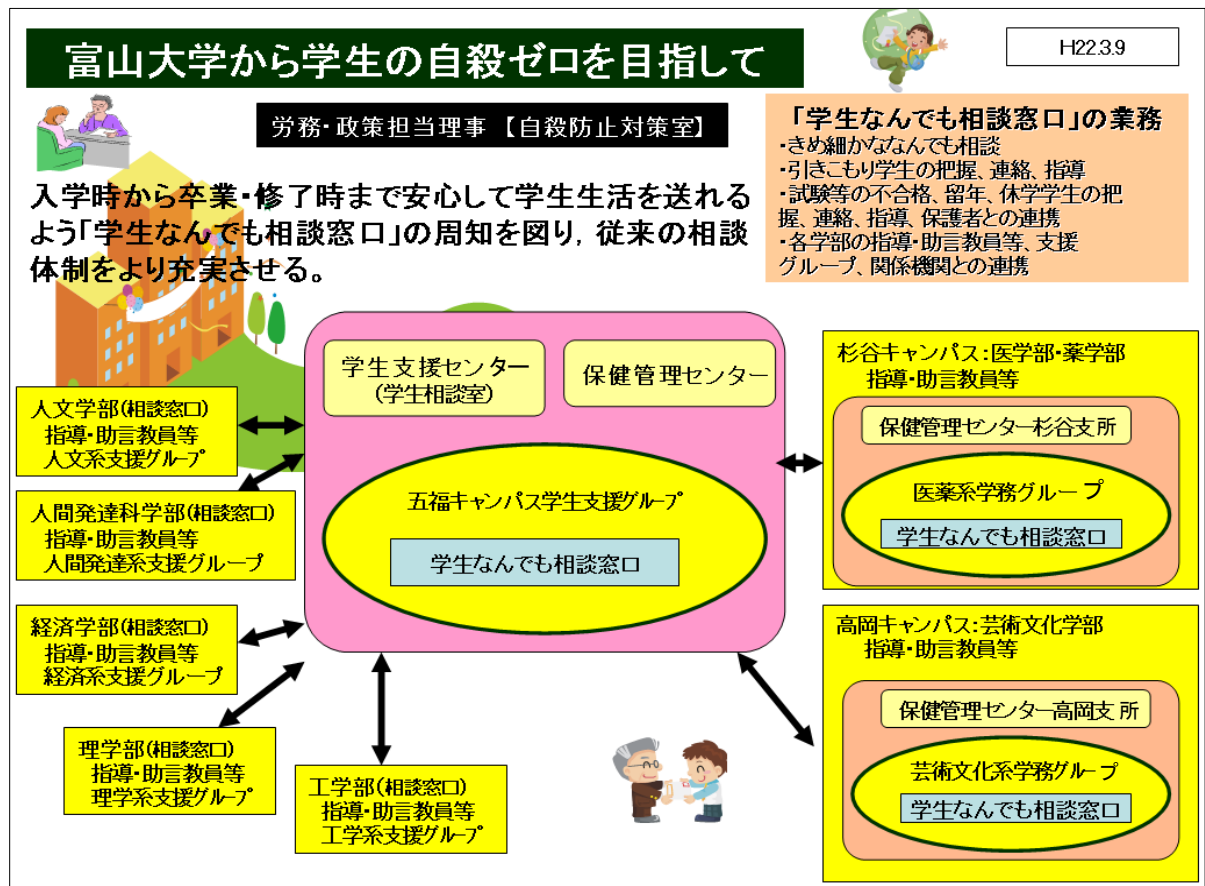
(出典:高等教育機構会議資料)

資料3-1 アクセシビリティ・コミュニケーション支援室の概要



(出典: 学生支援センター作成資料)

資料3-2 富山大学学生なんでも相談窓口体制図



(出典: 学生支援センター作成資料)

資料4-1 目に見える学生支援方策

平成21年6月29日

目に見える学生支援方策について

1. 目的

中期目標・中期計画に記載のとおり、学習支援、生活支援、就職・進路支援及び学生のための施設・設備等の環境整備支援において、直接的・積極的な目に見える学生支援を行い、入学から卒業までの学生に対する充実した支援体制の確立を図ることを目的とする。

また、従来の修学や学生生活支援は、窓口などにおける相談など受動的な感が否めなかったが、進学率の向上に伴う大学全入時代の到来に向け、学生の修学意欲の向上を引き出すために、下記の支援を行う。

2. 資金

学長裁量経費（授業料総収入額の1%程度）を充てる。

40,000千円

3. 支援方策及び予算額

(1) 学長表彰の表彰状の授与に伴う記念品等の贈呈に係る支援経費	2,800千円
(2) 学生個人又は団体の自主的・創造的企画運営プロジェクト支援経費	4,000千円
(3) 課外活動充実支援経費	13,200千円
① 大学祭等イベント支援経費	4,000千円
② 公認団体支援経費	9,200千円
(4) 教育・学生生活環境整備経費	20,000千円
① 課外活動施設等の整備	7,800千円
② 学生生活環境の整備	12,200千円

(出典：目に見える学生支援方策(抜粋))

資料4-2 富山大学五福キャンパス学生健康保険組合解散後の預かり金残金の使途について

平成21年度第1回学生支援センター運営委員会 議事要録(抜粋)

日時 平成21年5月15日(金) 13時30分～15時10分

場所 学務部会議室(共通教育棟 3階)

1. 審議事項

(4) 富山大学五福キャンパス学生健康保険組合解散後の預かり金残金の使途について

委員長から、富山大学五福キャンパス学生健康保険組合解散後の預かり金残金の使途について諮られ、学生支援グループ担当主査から資料4に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

平成21年5月15日

資料4

富山大学五福キャンパス学生健康保険組合解散後の預り金の使途について

(1) 富山大学五福キャンパス学生健康保険組合

組合員(五福キャンパス学生)の健康保持及び疾病負傷について、相互に救済することを目的としたもので、入学時に組合費(年額2,500円)を所定の修業年限分を納入し、医療機関で診察を受けて自己負担した額の医療費を給付する組織

(2) 組合の解散について

医療給付金増加のため、一時組合の運営が危機的な状況に陥り存続が危ぶまれたこと、組合の役割を十分果たしたこと等から、平成17年12月の理事会で組合の存続について審議した結果、平成18年度から組合員の新規募集を停止し、平成21年度の決算をもって組合を解散することを決定された。

(3) 解散時の預り金について

平成21年度の組合解散時には約1,300万円の預り金残金が見込まれ、平成19年度に開催した理事会において、大学へ寄附し、課外活動支援や学生の福利厚生のための経費に充てる方針が了承された。

平成20年12月には学生理事へアンケートを取り、残金の使途について意見聴取した。

また、平成20年度末に学生理事が卒業するため、同年度の理事会において、預り金は委任経理金として大学に寄附手続きをすることが了承され、当該使途及び管理については、学生支援センター運営委員会で検討することが併せて了承された。

【使途について】

本部生協食堂のエアコンの設置

(出典：学生支援センター運営委員会議事録(抜粋))

資料5-1 就職ガイダンス等実施状況

①就職活動全般ガイダンス

内容	参加者数							備考
	H21					H20	増減	
	文系対象	理系対象	芸文対象	全学部対象	合計	全学部対象		
(1) 進路を考える (3コース各1回)	57	34	34	-	125	-	125	H21年度新規
(2) 就職ガイダンス ①全学部対象 (10回)	-	-	-	1,398	1,398	926	472	公務員, 教員関係
②文系, 理系及び芸文対象 (3コース各10回)	2,410	1,150	400	-	3,960	2,087	1,873	
(3) 留学生に対するガイダンス (2回)	-	-	-	32	32	-	32	H21年度新規
(4) 就職未内定者に対するガイダンス (1回)	-	-	-	28	28	5	23	
(5) ビジネスマナー講座 (4コース各5回)	1,167	638	221	51 (医薬系)	2,077	1,113	964	
計	3,634	1,822	655	1,509	7,620	4,131	3,489	

②業界・企業研究会

年度	H21	H20
開催時期・時間	・10月上旬～12月中旬の金曜日(11回) ・15:00～18:00	・10月下旬～2月中旬の金曜日(17回) ・12:30～15:30
参加企業数	63社 (6社/回)	107社 (6社/回)
参加学生数	2,100人	681人
1社当り平均学生数	33.3人	6.4人

③学内合同企業説明会

年度	H21	H20
第1回	12月12日(土) 99社, 511人	2月10日(火) 28社, 154人
第2回	12月13日(日) 100社, 408人	2月12日(木) 36社, 77人
第3回	12月19日(土) 11社, 121人	2月13日(金) 31社, 150人
第4回	12月20日(日) 23社, 110人	2月16日(月) 59社, 40人
第5回	-	2月17日(火) 18社, 5人
総計(平均)	233社, 1,150人 (4.9人/社)	172社, 426人 (2.5人/社)

(出典：就職支援グループ調査資料)

資料5-2 富大流人生設計ノート

富大流人生設計ノート
— ポートフォリオ —

We are with you for your dream !

大学生活は高校までの生活とは大きく異なり、自由ですが責任もともないます。すべては自己責任で行動することが求められるのです。卒業後の将来の夢を実現するためには、早い段階から自分の人生設計を描き「今、何をすべきか」を考えて行動する必要があります。

「キャリア」とは、一般的に「職務経歴と個人の生涯にわたる生き方(ライフスタイル)のプロセス」と言われています。皆さんにとっては、在学中のさまざまな活動や卒業・修了後の進路や就職がキャリアの重要な問題となるでしょう。

富山大学では、学生一人ひとりが、入学した時点から大学生活全体を通して、自分自身の将来のキャリアについて考えを深めていくことができるように、大学での様々な活動記録を蓄積する「富大流人生設計ノート(ポートフォリオ)」を配付しています。大学生活での体験・出来事を記録し、白紙のノートを埋めていってください。

※ポートフォリオとは、紙/冊子や作品集のことで、仕事や学習における作業過程や成果を入れていくファイルです。富山大学では、ポートフォリオを「富大流人生設計ノート」と呼んでいます。また、この他にインターネットを利用したパソコンで管理する「学びのeポートフォリオ」も用意してありますので併用して利用してください。

富大流人生設計支援プログラム

キャリアサポートセンターの支援概要

- 1年次
 - リメディアル教育 入学前補充・補習授業の実施
 - 新入生オリエンテーション 新入生合宿研修
 - 富山大学進路情報提供
 - アセスメント 職業適性診断システム など
- 2年次
 - 富大流キャリア基礎学習(選択科目)
 - 短期職場体験
 - 富大流人生設計講座(選択科目)
 - キャリア開発研修会
- 3年次
 - 就職ガイダンス
 - 企業セミナー
 - インターンシップ(選択科目)
 - 長期種別型インターンシップ
- 4年次
 - OB・OG訪問支援
 - 就職活動学生報告
 - 卒業時アンケート
 - 保護者会

富山大学における三位一体の総合的支援体制

富山大学PSNS
PSNS
パーソナル支援
保護管理センター

富大流人生設計支援プログラム
キャリア開発支援
キャリアサポートセンター

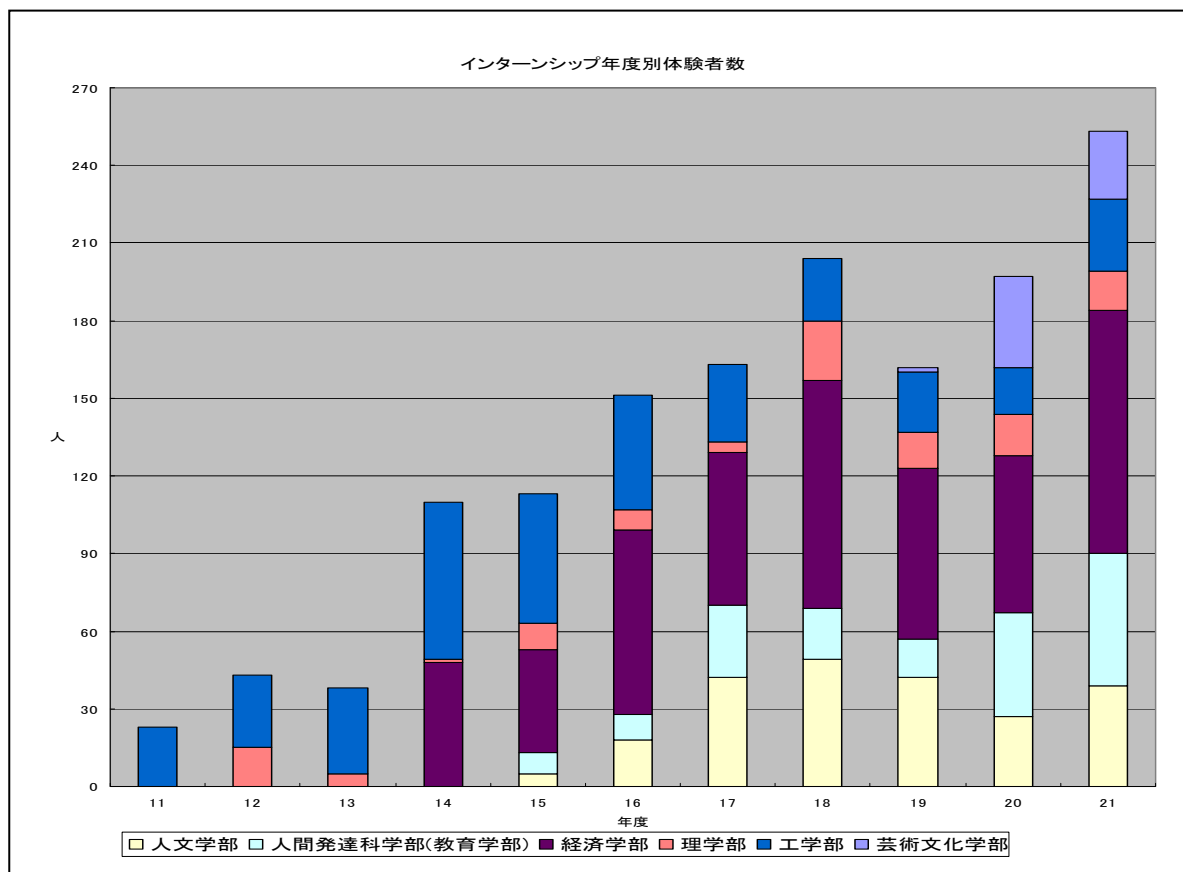
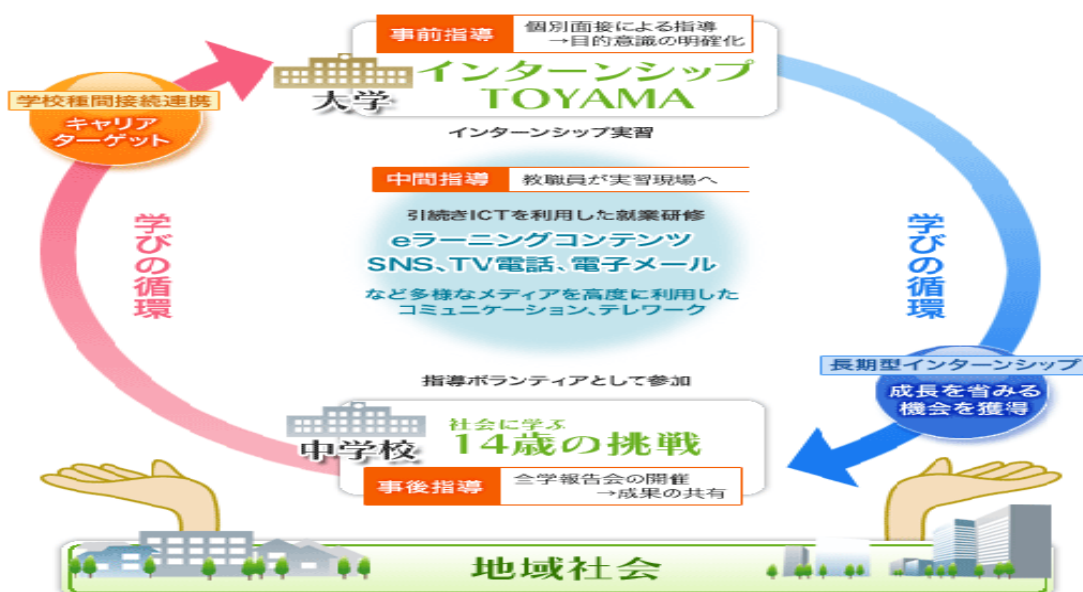
理想の進路・就職の実現
卒業生 → キャリア支援 → キャリアサポートセンター → フォロー

(出典：就職支援グループ作成資料)

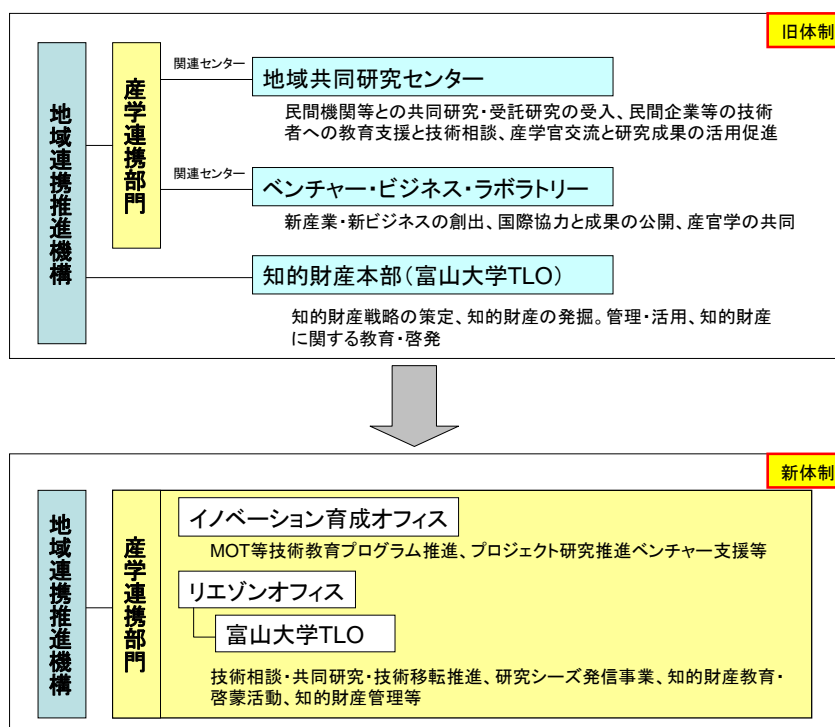
資料6 平成20年度選定 新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム（学生支援GP）
 富大流人生設計支援プログラム - 『14歳の挑戦』と
 連携する長期循環型インターンシップモデル-

プログラム概要

富山県では全国に先駆けて県内全中学校が「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」を実施しており、本学のインターンシップにも経験学生が参加するようになってきたが、相互に連携・接続していないために生徒・学生の経験値は個人レベルにとどまっていた。本プログラムではインターンシップ参加学生が実習後もICTを利用した自学研修を重ね、『14歳の挑戦』の生徒指導ボランティアとして参加する。大学生は自らの成長を省みる機会を獲得し達成効果を高め、中学生は数年先のキャリアターゲットとなる大学生と触れ合うことで将来像を獲得し、発達段階に応じたキャリア教育の学びの循環として機能する。本プログラムにより、パーソナル支援、修学・学生支援、キャリア開発支援の総合的學生支援体制が推進できるとともに、他の高等教育機関と地域社会に対しても新しいタイプの長期型インターンシップを提示することになり、地域社会全体の活性化に大きく寄与できる。



資料7-1 地域連携推進機構産学連携部門新旧対照図



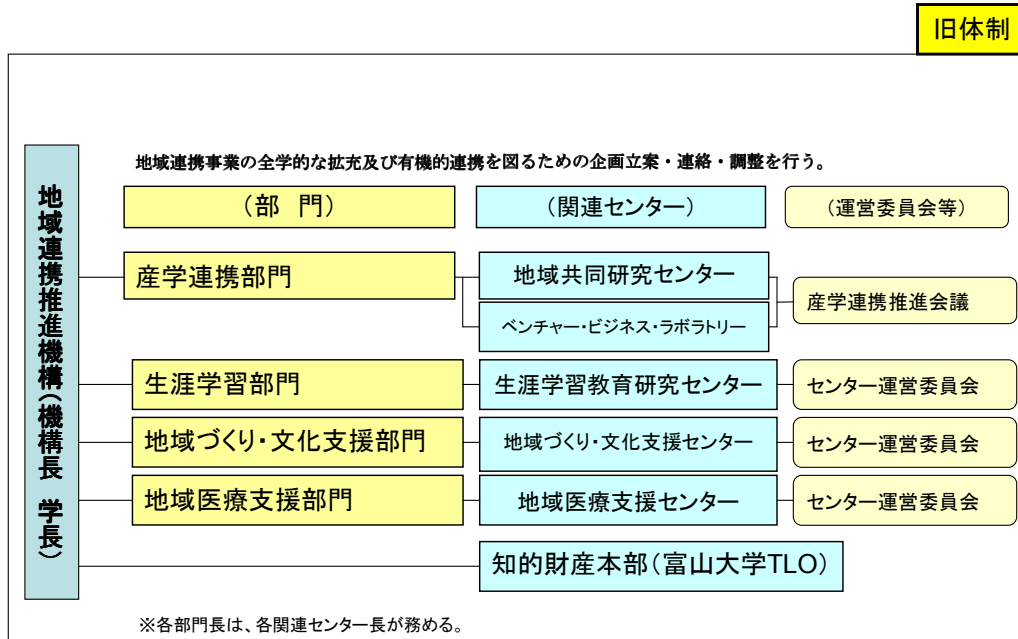
(出典：地域連携推進機構作成資料)

資料7-2 平成2年度産学官連携戦略 開事業(戦略 開プログラム)成果 概要

プロジェクト名	特色ある優れた産学官連携活動の推進
実施機関名	国立大学法人 富山大学
実施組織名	地域連携推進機構 産学連携部門
事業責任者	地域連携推進機構長(理事・副学長) 鏡森 定信
事業期間	平成20年7月1日～平成21年3月31日
委託金額	¥15,000,000円
事業背景・目的(200字以内)	富山大学の有するデザイン・科学技術に関する豊富な教育研究資源を活用し、富山県総合デザインセンター、高岡市デザイン・工芸センターと連携して、本学産学連携部門にデザインマネジメント体制を構築する事により、 * 地場産業の高度な伝統技能や技術との融合による近代化された伝統的工芸の創生 * 伝統技能を科学的手法データベース化し、知財の発掘・活用、技能の伝承を促進する。 以上を目的とする。
事業成果概要(600字以内)	<p>【産学連携センター(仮)の設置】 産学連携、技術系人材育成支援、知財の創出・取得・管理活用推進のため、地域連携推進機構に「産学連携部門」を設置し、事業対象である、伝統的工芸産業企業が多く、デザイン等を通して産学連携に係わりの多い、高岡キャンパス内に推進ベース(センター・通称TREC)を同部門に設置した。</p> <p>【センター内にデザインマネジメント部門の設置・DMP、MDの雇用】 デザインマネジメントプロデューサー(DMP)松原 博氏、マーチャンダイザー(MD)御手洗 照子氏と雇用契約した。(研究員：非常勤)</p> <p>【伝統的工芸産業・技能者の情報収集・データベース化】 地場企業、教育機関など10社を訪問し具体的な推進課題等を打合せ、活動推進のモデル化のため、地元工芸産業である銅器にスポットをあて、うち1社とパイロットプログラムの推進に関して協議した。伝統的工芸産業の保護・現代化取り組みの海外事例として、イタリア・サルディニアにおける民族工芸の保護・育成の状況に関し、現地調査した。</p> <p>【富山県総合デザインセンター、高岡市デザイン工芸センターとの連携体制構築】 階層ごとに会議体を設置し、地元行政機関・高岡市経営企画部、富山県・高岡市の両デザインセンターを実行委員として参加する体制を構築した。</p>
事業成果に関するWEBページ(ある場合)	http://www.tad.u-toyama.ac.jp/trec/contents/top.html

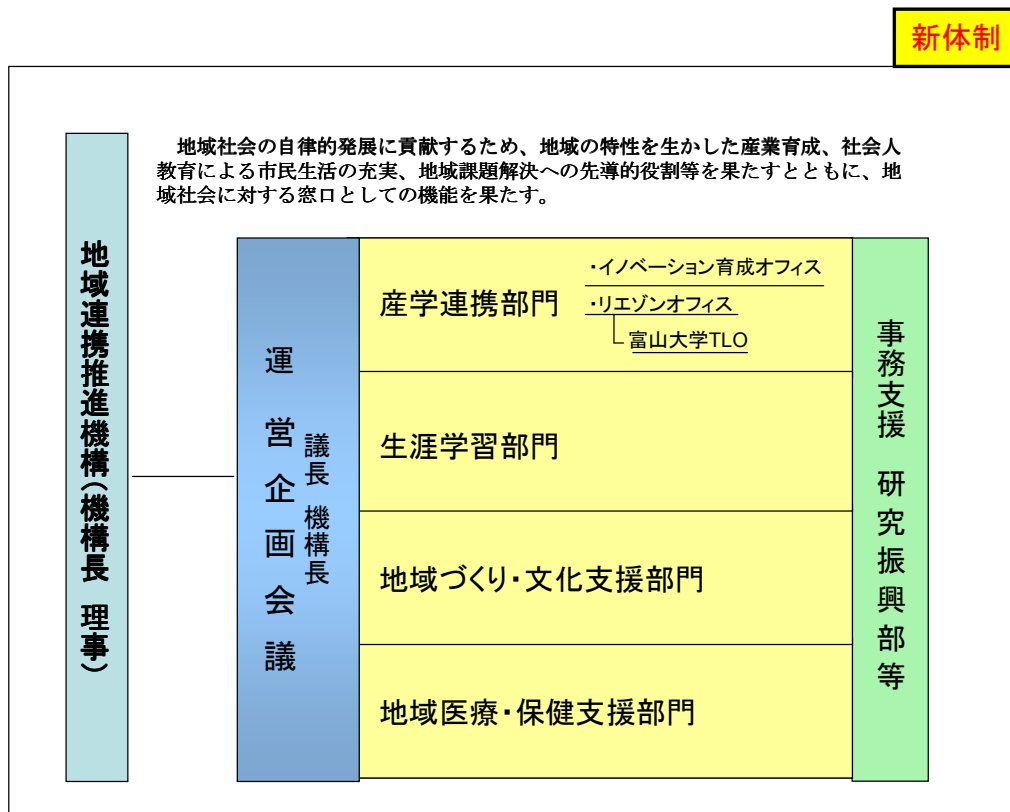
(出典：平成20年度産学官連携戦略展開事業(戦略展開プログラム)～特色ある優れた産学官連携活動の推進～ 成果報告書 1P)

資料8 地域連携推進機構新旧対照図



平成20年7月22日改組

- ・ 現行の知的財産本部及び地域連携推進機構の各部門に関連する5つのセンターは廃止し、その機能は4部門が引き継ぐ。
- ・ 機構の管理及び運営に関する事項を審議するため、運営企画会議を置く。



(出典：地域連携推進機構作成資料)